令和元年度　第二回
社会事業研究所　研究交流会

「韓国におけるケースマネジメントをされている利用者の“サービス中毒”の現状について」

慶南総合社会福祉館　福祉サービス次長
国立昌原大学家族福祉学科　兼任教授
昌原市地域社会保障計画（地域福祉計画）責任研究員
本学博士後期課程修了生　趙　正祐　氏（ジョ・ジョンウ）

日時：令和元年６月６日（木）１０：３０～
場所：日本社会事業大学　管理棟３階第３会議室

主な内容

　韓国は、地域社会を舞台とし、クライアントの多様なニーズアセスメントとサービス計画に基づき、公式・非公式的資源を発掘、調整、連携或いは直接提供してこれらを総合的に点検及び管理するケースマネジメント（事例管理）制度が民・官で運営されている。

　しかし、クライアントに与えられるサービスの質と量は増える一方であるが、クライアントは多くのサービスに依存されてしまう現状も多く、福祉病のような問題点が生れつつある。 サービス中毒は、福祉病の一種であるが、韓国の特有の文化や社会性も背景あり、この現象を解決するための理論的構築を立てた上で、実践レベルでの対応が必要であると考えられる。

　今後、韓国のサービス中毒における実態や理論的概念構築をするための基礎調査がされる予定である。

※事前申込みは不要です。
※当日会場へお越しください。